

News Release

平成 23 年 1 月 28 日 (金)

東京 PCB 廃棄物処理施設 コンデンサ解体室における作業員の負傷について

平成 22 年 8 月 27 日 (金) 午前 10 時、当社東京 PCB 廃棄物処理施設 3 階コンデンサ解体室での作業中に作業員が負傷し、その後の再検査により約 1 ヶ月に渡り入院・治療を行っています。

(当初は打撲との診断で軽微な不休災害としていましたが、11月15日に再検査の結果、12月から入院・治療が必要な休業災害となったものです。)

1. 平成 22 年 8 月 27 日 (金) 午前 10 時頃、当社東京 PCB 廃棄物処理施設 3 階コンデンサ解体室において、液中切断装置で処理するために作業員がコンデンサを冶具に固定する作業を冶具置台上に上がって行った際、冶具に足を引っ掛けてバランスを崩し壁に右肩をぶつけました。
2. 被災直後は軽い痛みでしたが、当日午後になり強くなったため診察 (レントゲン検査) を受けた結果、打撲 (シップ処方) と診断されました。
その後、痛みが残るため 11 月 15 日に再検査 (MRI 検査) を受けた結果「右肩腱板断裂」と診断され 12 月 11 日に入院、13 日に手術を受け、1 月 22 日に退院後リハビリ中です。
3. 本件災害では、コンデンサの冶具取付け作業を手順書とは異なる手狭な場所で行ったことが、発生の原因となっています。
4. このため、対策として本件作業にとどまることなく手順書で定められた通りに作業を行うことの徹底を作業員全員に繰り返し周知するとともに、すべての手順書についてより安全に配慮した手順書への見直しを行なうこととします。
5. 事業所における安全衛生活動については従前から安全教育やヒヤリハット (HH) 活動等を進めてまいりましたが、現場教育訓練、危険予知 (KY) 活動、パトロール及び注意喚起の表示をさらに推進し、労働災害発生防止に努めてまいります。

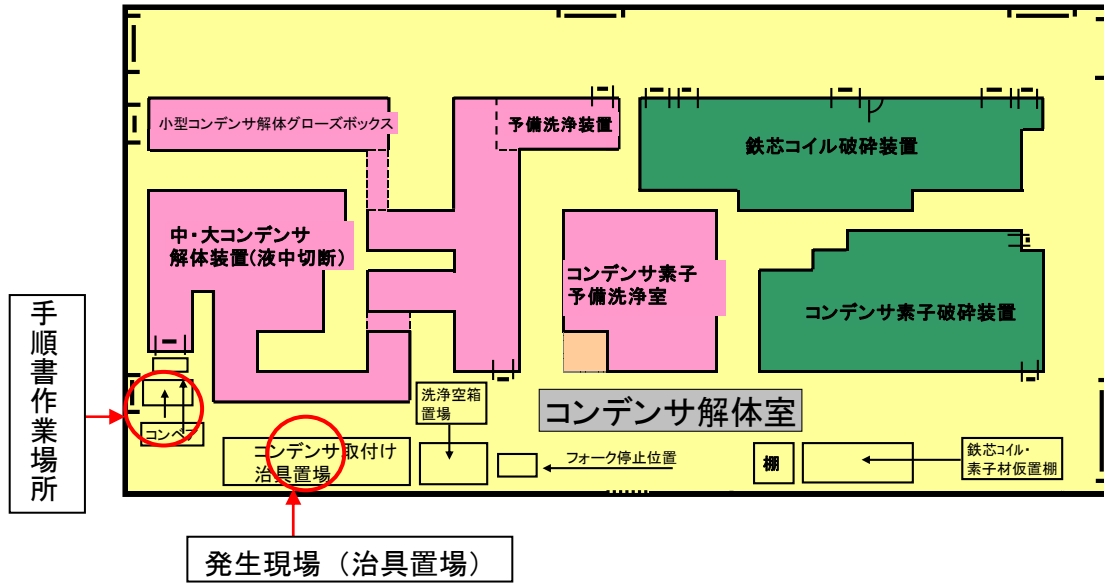
- (別添) 1. 施設 3 階平面概略図 (コンデンサ解体室)
2. 冶具置場 (参考写真)

<連絡先>

日本環境安全事業株式会社
東京事業所長 塩飽 晶夫
(TEL 03-3593-6023)

(別添)

1. 施設3階概略図 (コンデンサ解体室)



2. 治具置場 (参考写真)

